



泗水小だより

学校教育目標「自ら考え なかまと高め合う 泗水小」

泗水小学校
学校だより No2
文責 芹川博文
4月21日(金)

毎日の登下校について ～様々な学びの場に～

新年度が始まって10日余りが経ちました。新しい学年、特に1年生にとっては、大きなチャレンジなのではないでしょうか。

入学式の時に、1年生にお願いした2つのうちの1つは、「決して飛び出しをしない」でした。「自分の命は、自分で守る」、これは中学生、高校生になっても、いや大人にも言える自律の柱だと思えます。

「たかが登下校、されど登下校」です。6年間学校に通う中で、この登下校の時間は命に直結した時間でもあります。自分の目で確かめる、車の運転手さんにお礼を言う、道幅によっては立ち止まって自転車やバイクを通す・・・など、相手意識を磨くチャンスにもなります。

安全面だけではなく、体力面でも大きな違いがあります。私が子どもの頃は、遠くから通う友達は足が速い（特に長距離に強い）子が多かったことを記憶しています。

また、右の写真のように、上級生が下級生を連れてきてくれる中で、優しさや励まし方、誰かのために時間を使うことの貴重な体験を積んでいきます。



1年生を、見守りながら登校する上級生

季節の移り変わりも敏感になります。今の季節はひばりのさえずりが聞こえるかもしれませんが、「今年はツバメが飛んで来るのが早い」と感じるかもしれません。道端の花や、風の向き、日差しの強さの変化なども分かるでしょう。文字どおり生きた学びの場です。

もちろん以前と違い、様々な状況の中で車で送迎を選択する場合があります。しかし、その中でも、お願いした時間を守ることや、乗る時や降りる時のお礼など、「親しき中にも礼儀あり」の意味を学ぶ場になることでしょう。

何事も「当たり前」ではありません。一日一日の積み重ねで大人に向かいます。自律に向けて登下校も大きな「学びの場」であることを感じてほしいと思います。

学力調査に挑戦しました

4月18日(火)に、3～5年生は市の学力調査、6年生は全国学力調査に挑みました。

子どもたちが将来、自律(自立)するために、学力の保障は不可欠です。特にこれから中学校、高校と進む中で、小学校の基礎学力は土台となります。

学校で「分かる授業」に努めてまいります。ご家庭でも家庭学習の時間などのご声をお願いいたします。



児童会のやる気に期待 ～春休みリーダー研修の3つの言葉～

「安心」「挑戦」「真剣」の3つの文字を玄関に掲示しました。これは児童会役員の子どもたちが春休みにリーダー研修を行い、その中で自分たちが大切にしたいことを絞った3つの言葉です。どの言葉にも深みがあり、児童会役員の意気込みが伝わってきます。



これからは、自分たちで考え、創り出す力が求められる時代です。自ら考え、なかまと高め合う経験を重ねることで、自信や調整力が身に付くことでしょう。

アフターコロナの元年とも言える今年度、自分たちの思いの詰まった体験活動を沢山してほしいと願います。

「本物」に触れる学び ～中原先生の龍の迫力に感動～

「これすごい!」「この龍を作ったのは、この先生なんだよ!」子どもたちの感動の声、玄関に置かれた龍と魚の作品を囲んで響きました。

本校に教員業務支援員として勤務されている中原英昭先生は、「芸術家」でもあります。自然の木の根や石、竹などから様々な作品を作られます。その一つが玄関の作品「飛龍の如く」です。

子どもたちは、本物(一流のもの)に触れるとき、大きな感動と学びを深めます。できる限り多くの「本物」に触れる機会を持ちたいと考えます。もちろん「本物」とは物だけでなく、人も含みます。地域におられるその道のプロの方の情報などもお待ちしております。



明日の授業参観 ～新しい学年のお子様の様子を～

明日、4月22日(土)の授業参観、お待ちしております。今年度最初の授業参観、子どもたちも職員も張り切っています。どうぞ、この瞬間のお子様の学校での姿、表情を見においでください。

当日は、車の混雑も予想されますので、可能な方は、お子様の通学路の確認も兼ねて徒歩で来ていただくと助かります。

尚、アフターコロナ第1回目の授業参観となります。PTA総会も体育館で行われる予定です。よろしくお願いいたします。